

第9回ワークショップ「パワーアシストスーツ開発の現状と建築への応用」

近年、建築現場では労働力不足や作業員の高齢化が大きな問題になっている。ロボット化や自動化はその解決手段の一つとして期待されている。中でもパワーアシストは、作業員が装着することで、筋力の強化、疲労の軽減が可能となるため、介護や物流を中心として急速に開発が進んでいる。本ワークショップは、パワーアシストの現状と現場におけるニーズを議論することにより、建築生産における諸問題を解決する手段を見出し、パワーアシスト開発の方向性や現場における有効性を提案することを目的とする。

主催:材料施工委員会 建築生産運営委員会 CA技術小委員会

日時:2015年1月30日(金) 13:30~16:30

会場:建築会館会議室(東京都港区芝5-26-20)

プログラム:総合司会 蔡 成浩(鹿島建設)

① 次世代CA技術調査WGからの報告

- ・「建築に関連するパワースーツ開発の現状」中村 聡(東急建設㈱)

② 開発者の視点から:メーカー, 大学研究者

- ・「パワーアシストスーツの開発」山本 圭治郎(神奈川工科大学)
- ・「マッスルスーツ®の機構と性能」小林 宏(東京理科大学)
- ・「棚下作業用アシストスーツ「ラクベスト」の開発」林 正彦((株)クボタ)
- ・「パワーアシスト機器導入による効率改善」小西 真(アクティブリンク(株))
- ・「「受動歩行」から生まれた、無動力の歩行支援機 ACSIVE (アクシブ)」

鈴木光久((株)今仙技術研究所)

③ 使用現場の視点から:ゼネコン担当者

- ・「建設技能工用疲労軽減ウェアの開発」永田幸平(竹中工務店)
- ・「建設作業におけるアシストやサポート装置の必要性と可能性」

後久 卓哉(東急建設)

④ 討論会:アンケート結果, その他を踏まえた討論

- ・司会 井上文宏(湘南工科大学)
- ・討論参加 開発者, ゼンコン各メンバー, 会場

定員 : 70名(定員に達した場合はお断りの方にご連絡します。)

参加費 : 会員 1,500円、会員外 2,500円、学生 1,000円

申込方法 : (1) Web申込み <https://www.aij.or.jp/index/?se=sho&id=992>

よりお申し込みください。

(2) E-mail による申し込み: 催し物名称、参加費種別、会員番号、氏名、勤務先・所属、同電話番号を明記し、E-mail にてお申し込み下さい。

問合わせ : 日本建築学会 事務局研究事業グループ 浜田 hamada@aij.or.jp